

**第5次八戸市総合計画後期推進計画策定委員会**  
**第3回「自治基盤の整備プロジェクト部会」 議事概要**

日 時：平成22年8月9日（月）13:00～14:00

場 所：八戸市公会堂文化ホール 1階 講義室

出席者：委員5名（佐藤勝俊部会長、月舘淳子副部会長、岩崎光宏委員、立花正志委員、川村暁子委員）

事務局：政策推進課（工藤広域調整GL、高橋主査）

庁内検討ワーキングチーム関係16課（南郷区役所企画総務課、南郷区役所農林建設課、市民連携推進課、広報統計課、まちづくり文化推進室、防災危機管理課、総務情報管理室、行政改革推進課、人事課、情報システム課、財政課、住民税課、収納課、市民課、道路建設課、社会教育課）

要 旨：第5次八戸市総合計画後期推進計画の戦略プロジェクト2次案について、素案からの変更点等を確認しながら、その内容について検討した。

結果として、2次案の方向性は概ね委員会の了解を得たが、一部、記載方法等について意見が出された。

内 容：

**1 開会**

**2 部会長あいさつ**

- ・ ワークショップ形式で行う部会のため、委員の皆様には積極的な発言をお願いしたい。
- ・ 様々質問等あると思うが、関係課の皆さんにはご協力いただきたい。

**3 審議案件**

**①戦略プロジェクトの2次案について（部会資料6）**

- ・ 事務局から資料を説明後、プロジェクト毎に、後期推進計画の2次案を検討した。

**<4-1 協働のまちづくりプロジェクト>**

- ・ P.34の「地区公民館の機能強化」について、前期推進計画掲載事業を制度的に見直したものが「拡充」とされているが、どこが拡充されたものか？
  - 今後、地区公民館を地域活性化の拠点としてソフト面を強化していこうという趣旨が拡充箇所と考える。これまでの公民館は、社会教育施設として講座等学習機会を提供する場であったが、地域によっては住民の会合の場として利用されたり、また地域づくりについて手伝いをする公民館もあったことから、地域のつなぎ役としてのあり方を全市的なものとして、今後検討していく。
- ・ 「拡充」とされている箇所については、拡充された部分が見えるような記載をしたほうがいい。
- ・ マンションにおける2児遺体遺棄事件や所在不明高齢者の問題が発生している。事件

を受けマンションでも住民交流が生まれているし、高齢者問題にしても地域のつながりが希薄であるとの問題提起がされているところ。本計画は市民の目に触れるものであるため、「自治力の向上」においても、こういった点に焦点を当て、地域のつながりの重要性を訴える視点を盛り込めないか。

→ ソーシャル・キャピタルの醸成という言い方をするが、地域住民が顔見知りになることで、地域は安全で住みよくなる。こういった部分については個別の事業は無いが、考え方は「地域コミュニティの振興」の趣旨の根底にあるものである。

本計画は今後6ヶ年度にわたるものであるため、個々の事案への対応を出していくとなると難しいと考えるが、「プロジェクトの方向性」などに時代の要請などを書いており、そこでの調整は可能である。地域コミュニティ実現を目指すバックグラウンドとして、今問題となっているテーマについて盛り込みたい。

#### <4-2 行財政改革プロジェクト>

- ・ 事業期間について、26年度までとなっているものが多いが理由は何か？
  - 第5次八戸市行財政改革大綱に掲載の事業については、大綱の期間に合わせて26年度までとしている。なお、このうち「ホームページ・各種印刷物等への民間企業広告の掲載」については26年度限りで終了するものとは考えられないので、後で28年度までと訂正させて頂く
- ・ この手のものは、努力しているのはわかるが結果がどうなったかが見えてこない場合がほとんど。特に意識改革に関する部分は一番結果が見えにくい。内部のことだとしても外部への公表・評価が必要であり、そのあたりを何らかの形で計画に記載してほしい。
  - ほとんどが第5次八戸市行財政改革大綱に掲載の事業であるが、これらは進捗状況を管理し、行政改革委員会より意見をいただき、議会にも報告する。また市ホームページでも公表を予定するもの
- ・ 「類似自治体との行財政比較の公表」の事業概要には「市民に分かりやすい形での公表」とあるが、ここだけにその記載があるので、他の事業では公表されないのかとの誤解も生じかねない
  - 進行管理や公表のあり方について記載する。表し方は検討させて頂く

#### <4-3 市民サービス向上プロジェクト>

- ・ 窓口サービスに関するアンケートを実施しているようだが、その結果はここに生きてくるものか？また、シビアな意見もあると思うがアンケート結果は公表されるのか？
  - 現在、本・別館で実施しているアンケートは、窓口サービス改革推進事業の一環である。アンケートは数年にわたり続けることとし、今後、接遇研修等を実施していく上での効果を測る指標としたいと考えている
- ・ あまりサービス精神の無いアンケートであると感じた。良い悪いでの回答を求めても、何が悪いかというのがわからない作りとなっている
- ・ 本来市民が望むものとして、どこかの市民団体に作ってもらってアンケートを取れば、生の声が拾えるかもしれない
- ・ 庁内で作ったものは部署が違っても同じ目線となる。市民の目はまた別の見方をする

と考えられるので、これについても後で活かしてほしい

- ・ 各事業名にある「(仮称)」はいつ取れるものか？
  - 計画策定と並行して事業内容を検討しており、それまでに事業名が決まれば別だが、「(仮称)」が残るものもあると思う

#### < 4 - 4 広域連携・自立の促進プロジェクト >

- ・ 「地域振興基金（仮称）の設置・運用」を削除したのは何故か？
  - 戦略プロジェクトには載せないが、分野別計画には載せる方向で検討している。本基金ははまだ検討段階にあり具体の形となっておらず、また財務的な性格のものであるため、事業を掲載する戦略プロジェクトからは除くこととした。  
なお、基金を削除したことに伴い、「プロジェクトの方向性」についても、基金対応のため修正した文言について、1次案のとおりに戻すこととなるもの
- ・ 「定住自立圏形成事業」の事業期間が25年度までとなっているのは何故か？
  - 共生ビジョンの期間に合わせたもの